

令和4年度 未来都市創造に関する特別委員会 委員長報告（案）

未来都市創造に関する特別委員会の活動状況について、ご報告申し上げます。

本委員会は、神戸市会初の試みとして、市当局が提案する政策を質^{ただ}すだけではなく、議会の立場から独自の政策提言を行うことを目指して、平成26年度に設置されました。

設置以来、新たな時代の神戸のまちづくりはどうあるべきかについて、特に都心・三宮再整備など神戸の将来に大きく影響する課題を中心に、専門的知見などを活用しながら調査・議論を行い、市長に対して提言を行ってきました。

令和4年度は、令和3年度の提言でも取り上げた「神戸ならではの歴史や地形を活かしたまちづくり」をさらに掘り下げ、神戸市内に数多く残る史跡や伝統文化等の歴史的資源を活かしたまちづくりをテーマに、幅広い観点から調査・議論を行いました。

委員会では、まず、園田学園女子大学名誉教授 田辺^{たなべ} 眞人^{まこと} 氏にご同行いただき、下谷上農村歌舞伎舞台や、西国街道、湊川神社、花隈城跡といった市内の歴史的資源の現地視察を行い、次に、再度、田辺氏を委員会に招致し、市内の歴史的資源の現状と課題、活用の可能性や情報発信の方法などについて、意見聴取及び意見交換を行いました。

こうした調査活動に加え、広島市や丹波篠山市で実践されている先進事例も参考にしながら、各委員の課題認識に基づいた委員間討議を重ねた結果、「産学官民の連携による協議会の創設」と「デジタルアーカイブ『（仮称）神戸歴史図書館』の開設」の2つの項目から成る提言書「歴史的資源を活かしたまちづくり」を取りまとめ、2月8日に久元市

長に提出いたしました。

市内には歴史的資源が豊富にあります。観光客だけでなく市民にもその価値が認知されていないものも多く、今後は市が主体となって市内に点在する歴史的資源の効果的な活用戦略を検討し、神戸のブランド力を高める施策に反映していくべきであります。こうした思いから、委員会では「産学官民の連携による協議会の創設」として、歴史的資源の活用戦略や地域の歴史・文化を活かしたまちづくりについて、関係者それぞれの立場や視点で積極的に意見交換や具体的な提案を行ってもらう協議会を創設し、各分野の知見を直接市の施策に反映させる仕組みを作ることを提言しました。また、「デジタルアーカイブ『（仮称）神戸歴史図書館』の開設」としては、神戸の歴史的資源に関する情報を一元化し、資料や写真の掲載だけでなく、動画等も活用して積極的に歴史的資源の魅力を発信するデジタルアーカイブを、今後整備される予定の「（仮称）神戸市歴史公文書館」のウェブ上に開設することを提言いたしました。

来る3月24日には、委員会の活動状況や市長への提言内容を市民の皆さんにご報告するため、市民報告会を本会議場で開催する予定です。参加者の皆さんからいただいたご意見等は今後の政策提案に反映させていきたいと考えております。

以上、委員会の活動状況についてご報告を申し上げましたが、当局におかれましては、歴史的資源を活かしたまちづくりの実現に向けて、本委員会からの提言内容も考慮しながら、積極的に取り組んでいかれるよう強く要望し、委員長報告といたします。